

# サルの苑タイムズ

## 春爛漫の季節が到来



ライトアップしたお堀の桜 高崎市役所の桜 高崎城址お堀の桜

令和5年4月15日発行  
第103号  
〒370-0002  
高崎市日高町433-1  
TEL: 027-329-7211  
社会福祉法人健康生会  
特別養護老人ホーム  
高崎花の苑広報委員会



### 施設近隣を散策(桜と再会)



### 地域情報

#### 「幸せのベンチ」設置

新たな地域づくりの取り組み「幸せのベンチプロジェクト」の一環で、このほど、新高尾公民館に隣接した新高尾忠霊塔の庭に「幸せのベンチ」が設置され、地元で話題となつていきます。(写真)

「幸せのベンチプロジェクト」は、地域・企業・学校などが連携して、地域の人々をつなげる取り組みとして注目されているものです。



住民交流の場として新高尾地区地域づくり活動協議会では、同プロジェクトの主旨に賛同する一方、地域の人たちが移動の途中や小休憩などに活用するなど、地域住民の繋がりの場、交流の場として「幸せのベンチ」を設置したものです。

#### フォトシリーズ「自慢のショット」

●撮影者 石川聡子 (Dユニット職員)  
●場所 岩井親水公園 (一言コメント)

「国内有数の水仙の産地・東吾妻町。吾妻川に面した岩井親水公園脇の畑に約三十万本のラッパ水仙が咲き、その側に約一キロにわたってソメイヨシノの桜が咲く光景はまさに圧巻。感動のショットを切りました」



#### 「Gちゃん」が五位に入賞 (上毛新聞推しマスケット総選挙)

「花の苑タイムズ」二月号で紹介し、読者の皆様にご協力を頂いた「第一回上毛新聞推しマスケット総選挙」の結果は、群馬県老協協を中心にした介護業界として支援した「Gちゃん」のGが、五位入賞を果たしました。(上毛新聞紙上で既報)

「Gちゃん」のGは、群馬、G O O D、元気、おじいちゃんのGを表すネーミング。「Gちゃん」の誕生には花の苑とも深い関係があり、いまや介護福祉の重要性や介護職の魅力発信に貢献している



### 雑感手帖

加藤和昭

最初にさらっとですが、高崎花の苑は今年十年目を迎えます。ですが、あえてこの十年目もあまり節目と考えずに、特別感を出さずいつも通りに毎日を積み重ねていくと思えます。ずっと安泰でいられるような世の中ではありませんし、施設としても物価やエネルギー費用の高騰は運営面に大きな影響が出ています。できる限り価格転嫁を引き延ばしていますが、難しい時期です。

日本社会は変わってしまつて、多かれ少なかれ皆、不安を抱えながら生きていくことになるのだと思えます。なので受け入れてしまふのが良いのではないのでしょうか。自分だけが不安ではなくて、日本人は皆不安。世界的に見ても、割とあちこちそうでしょう。そう思っておけばそんなに辛くなることはないのかもしれない。

### ホッと通信

二号館Dユニットご利用者・村上繁康様ご家族から、このほど施設職員あてに心温まるお手紙を頂きましたので、原文のままご紹介いたします。

「こんにちは、お世話になっております。花の苑が志す、思いの籠った「花の苑タイムズ」が三月十五日(水)に届きました。有難うございます。今回は、夫の八十六歳の誕生日を迎えて、特別なお計らいを頂きとても嬉しいです。(有難うございました。)

スナック写真やそのエピソード等を読んでみると、その時々本人の感想、気持ちの動きがその傍に居る様に感じられます。入所なさっている方々の表情が皆、豊かで楽しまれていらつしやるのは、スタッフの方々が利用者様と一体となり、楽しんでいらつしやるからなのですね。

邪魔されず、安心して、自然な精神で自分の存在をお預けできるからなのですね。

#### 最優秀賞を受賞(広報紙部門) (県老協第十四回広報コンテスト)

一般社団法人群馬県老人福祉施設協議会(県老協)古谷忠之会長(主催)の第十四回広報コンテストの表彰式が、このほど開催した令和四年度第二回臨時会員総会に伴つて行われました。

表彰式では、県老協・福岡聡広報委員長から、「未だ収まらないコロナ禍の中、熱心さを感じる多くの応募があった」とした上で、厳正・公正に



審査経過の説明と受賞者の紹介がありました。

この後、古谷会長から「広報紙部門」の最優秀賞に選ばれた高崎花の苑発行「花の苑タイムズ」をはじめ、「フォト部門」を含む優秀作品に選ばれた各事業所に、表彰状並びに記念品が授与されました。

#### ユニット短信

●「キュウリの種まき」  
Dユニットでは、夏野菜を種から育てようと、このほど苗づくり用のプランターに種まきを行いました。

昨年、苑内で収穫したキュウリの新鮮な味が忘れられず、この夏もあの味を再びの思いで、今



年は種まきからのスタート。この日は、温かな春日和の午後、松本昌子様、箱田俊子様が、職員とともにキュウリの種を植えました。(写真)

「早く育ってほしいですね」と今から期待に胸を膨らませるDユニットの利用者様でした。

●「今年も八重桜と再会」  
二号館Eユニットの戸塚東太郎様ご家族から、今年も八重桜の切り枝が届き、一号館事務所脇(写真)の他、各ユニットにも飾らせて頂きました。

各ユニットからは、「色合い、花びらがとてもキレイ！」との喜びの声が寄せられています。

この八重桜は、戸塚東太郎様がかつて、お孫様の誕生記念に植えられた数多くの花木の一つだそうです。





# 苑内の花々が開花



施設苑内には現在、中庭中心にいくつかの花々が温かな春の日差しを受けて咲き誇っています。このうち、山桜は植樹して以来、なかなか花芽を付けずにいましたが、昨年以降、可憐な白い花びらをつけるようになりました。その隣には西洋シヤクナゲが、鮮やかな濃いピンク色の花を咲かせました。また、奥まった庭の隅っこでは、薄いピンク色のシヤガが咲き乱れ始めています。



# 「菜の花祭り」開催(展望花の丘)

市内鼻高町にある「展望花の丘」では、菜の花が現在見頃を迎え、四月十五日から五月十五日までの期間、「菜の花祭り」が開催されます。今年も例年より開花が早く、祭期間前に訪れたこの日、四十万本と言



われる菜の花が、上毛三山や浅間山を見渡すパノラマを背景に香り高く咲き誇っていました。この時期花の丘では、チューリップやネモフィラなども楽しめます。

# 「地域共生社会」の実現へ

（第45回たかさき市民福祉大会）高崎市などが主催する、第四十五回たかさき市民福祉大会が二月十一日に開かれ、市の社会福祉活動に貢献した個人・団体等を顕彰した他、別掲の大会宣言などを発表しました。



「少子・高齢化や核家族化の進行、人口減少等による地域社会を取り巻く環境の変化、地域のつながりの希薄化等により社会的孤立や生活困窮、ヤングケアラー、介護・子育てに対する不安など、福祉課題は多様化、複雑化しています。また、新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う経済停滞と雇用悪化は、社会的に弱い立場におかれた人たちに大きな打撃を与え、生活困窮者が拡大しました。」

住民が主体的に把握して解決を試みる体制づくりと担い手の育成が求められています。この社会の実現には、制度、分野ごとの「縦割り」や「支え手・受け手」という関係を超越して、私たち一人ひとりが「他人事（ひとごと）」ではなく、「我がごと」として考えていく必要があります。

「少子・高齢化や核家族化の進行、人口減少等による地域社会を取り巻く環境の変化、地域のつながりの希薄化等により社会的孤立や生活困窮、ヤングケアラー、介護・子育てに対する不安など、福祉課題は多様化、複雑化しています。また、新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う経済停滞と雇用悪化は、社会的に弱い立場におかれた人たちに大きな打撃を与え、生活困窮者が拡大しました。」

本日も、第四十五回たかさき市民福祉大会を開催するにあたり、誰もが住み慣れたこの高崎市で安心して暮らせる福祉のまちづくりの実現に向け努力することをここに宣言します。

このような中、子ども・高齢者・障害者などすべての人々が、住み慣れたまちで安心して暮らせる「地域共生社会」の実現のため、地域の課題を

令和五年二月十一日（第四十五回）たかさき市民福祉大会

# ユニットたより

## 「桜もちで春行事」

ASユニットの三月行事は、少し遅いひな祭り。と桜の時期に合わせ「桜もち作り」を誕生日会をかねて行いました。

桜もちづくりでは、利用者様に工程ごとにお手伝い頂き、菊池智様や渡邊二三枝様にはあんこを丸めて頂きました。その手つきの速さや、さばき方には職員もびっくり。菓子職人に負けないほどの手さばきでした。

焼き上がった皮にあんこを包み、最後に塩漬けの葉を巻いて完成。利用者様と職員が協力して、お店の品に劣らない桜もちが出来上がりました。

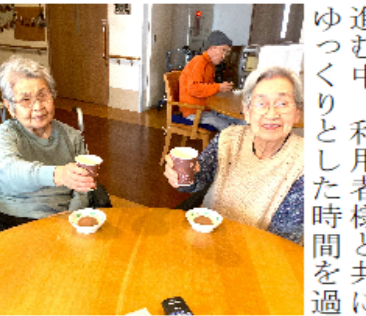


目の緑茶とともに桜もちを召し上がって頂きました。中には「こんなおいしい桜もち食べたことないよ」と、少し褒め過ぎかなと思いましたが、皆様には大変喜んで頂きました。

誕生日会では、金井初男様がお誕生日を迎えられ、職員からお祝いのプレゼントが。ウクレレの伴奏で皆でハッピーバースデーを歌った後、金井様にとつての懐かしの曲「高校三年生」などをハモニカで演奏してお祝いしました。

## 「甘酒で誕生日祝福」

BCユニットの三月行事では、季節の飲み物の甘酒をつくり、誕生日会



女性利用者様からは、「酒粕から作らないの？」との質問もいただき、酒粕ではアルコールが若干入る事や、米麴で作るのもあることなど、楽しい会話も出来ました。

今回はノンアルで紙カップのを選び、お鍋で温めて作りました。香りがリビングに広がる中、皆様に飲んで頂くこと、BCユニット湯浅知子様は「昔はビールをよく飲んでたよ。これも美味しいね」と話され、こんな会話が進む中、利用者様と共にゆつくりとした時間を過ご

ごしました。この後、三月お誕生の長井友次様と吉田正様にプレゼントをお渡しして記念撮影を行いました。吉田様は、この前日に訪問美容で散髪され、髪型もこだわり、かっこよく決まっていました。髪の毛をビートたけしみたい

今回の行事も、皆様の健康を願いながら楽しい時間となりました。(BCユニット I)

## 「恒例のおやつレク」

GSユニットでは、季節折々のユニット行事で、利用者様に召し上がって頂きたいおやつをお聞きして「おやつレク」を行っています。

施設で毎日おやつが提供されていますが、なかなか普段食べられないメニューもありますよね。そこで、あがってきた利用者様の声の中から、『生クリームとサクランボののった喫茶店の



両メニューともに、生クリームや果物をたっぷり使った豪華なおやつが完成しました。『甘くて美味しい！』『外食しているみたいだね』との喜びの声があがり、大変に満足した表情で皆さん召し上がっておられました。

GSユニットでは、皆さんのリクエストに応じた「おやつレク」を、これからも継続していききたいと思えます。(G・Sユニット Y)



# 委員の一言メモ

★桜が開花したタイミングの中、ユニット行事で桜もちづくりを。やはり花より団子です(康)★

ユニット内に桜の花が届き、利用者様とお花見が出来ました。リビングが明るくなり、皆さんと共に楽しみました(恵)★

ラップ水仙で有名な岩井親水公園(東吾妻町)に行き、桜と水仙の共演をフォト撮影。素敵な写真が撮れました(聡)★

利用者様から要望のあったものを、来月までに作ることを現在計画中で、非常に楽しみです(麻)★

WBC感動しましたね。息子達の少年野球時代を思い出しました(山)★

桜の花も散り、これから新緑の季節。ドライブが楽しみ(由)★

広報コンテスト表彰式。評価して頂いたことを改めて実感し、とてもうれしく思いました(美)★

桜の開花を始め、今年は花々が早咲きの感。プランターの植え替えに頭を悩ますこの頃。楽しくもあり(井)

この頃、皆様には濃い